

## 〈サンプル〉

文部科学省科学技術・学術政策研究所

### 科学技術の状況に係る総合的意識調査(定点調査 2015)

(大学・公的研究機関グループ研究者用)

#### 〈調査の趣旨について〉

この調査は、第4期科学技術基本計画(2011年度～2015年度)期間における、我が国の科学技術とイノベーションの状況変化を捉えることを目的としています。定点調査2015は第5回目の調査となります。調査では、科学技術およびイノベーション活動の中でも、特に国の科学技術予算をもとに実施されている活動に注目します。

調査票は「大学や公的研究機関における研究開発の状況」と「研究開発とイノベーションの橋渡し等の状況」の2つのパートから構成され、総質問数は57問です。定点調査の概要についてはこちらをご覧ください。また、深掘調査(回答画面の最後で表示されます)についても、併せてご回答をお願いいたします。

#### 〈科学技術イノベーションとは〉

第4期科学技術基本計画では科学技術イノベーションを「科学的な発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と、それらの知識を発展させて経済的、社会的・公共的価値の創造に結びつける革新」としています。第4期科学技術基本計画の詳細についてはこちらをご覧ください。

#### 〈回答要領〉

- 本調査は、我が国の研究開発において重要な役割を果たしている大学や公的研究機関の部局・事業所のみなさまにご依頼申し上げます。貴部局・事業所のご意見を調査に反映したく、是非とも調査へのご協力をお願い致します。
- 調査票のサンプル(PDF形式)はここからダウンロードできます。
- チェック式の質問では、該当する箇所の○を、1つだけチェックしてください。順位を回答する質問では、各順位に該当する選択肢の番号を記入してください。
- 質問によっては、「実感のある」場合(例えば、具体的状況について知見がある、自分の所属するセクターのことなので分かる、業務と関係があるので分かる)と「実感のない」場合(例えば、自分の所属しないセクターのことなので実情がよく分からない、業務と関係がないので分からない)とがあると思います。「実感のない」場合は「分からない」の○をチェックして下さい。
- 今回の回答が前回の回答と異なる場合は、できるだけその理由を「変更理由欄」にご記入ください。

#### (参考)変更理由欄の記入例

- の予算が増えて、○ができるようになった。
- の制度が変更されて(手続きが簡素化されて)、○が行えるようになった。
- 新たな○の取り組みが始まったことの副作用で、○の問題が生じてきた。
- の掛け声が強すぎて、○が阻害されている。

- 頂いたご回答は、文部科学省科学技術・学術政策研究所及び調査票回収業務を委託している一般社団法人輿論科学協会において厳正に管理します。
- 回答には1時間程度を要します。「途中で保存」を押下することにより、途中で中断し再開することが可能です。
- 2015年10月23日(金)までに、ご回答くださいますように、お願い申し上げます。
- 調査の進展に応じてQ&Aを科学技術・学術政策研究所のホームページ <http://www.nistep.go.jp> に掲載しますが、質問内容に不明な点などがある場合には、科学技術・学術政策研究所の調査担当(省略)にご連絡下さい。ウェブページの操作方法等に関しては、一般社団法人輿論科学協会(省略)にご連絡下さい。
- 調査票へのご記入を紙媒体で行うことを希望される場合は、一般社団法人輿論科学協会の担当へ電子メールにてご連絡ください。紙媒体の調査票を、郵送にてお送りいたします。

ウェブページの操作方法、紙媒体の調査票の希望等についてのお問い合わせ

(省略)

調査票の内容についてのお問い合わせ

(省略)

## 〈サンプル〉

文部科学省科学技術・学術政策研究所

### 科学技術の状況に係る総合的意識調査(大学・公的研究機関グループ研究者用)

#### ご連絡先等の確認

ご連絡先等情報のご記入をお願いします。本調査のご回答に関して、確認させていただく場合がございます。

ご連絡先等の情報			
お名前 §			
お名前(ひらがな)			
性別	1 <input type="radio"/> 男性	2 <input type="radio"/> 女性	
年齢	1 <input type="radio"/> 29歳以下	2 <input type="radio"/> 30～34歳	3 <input type="radio"/> 35歳～39歳
	4 <input type="radio"/> 40～44歳	5 <input type="radio"/> 45歳～49歳	6 <input type="radio"/> 50～54歳
	7 <input type="radio"/> 55歳～59歳	8 <input type="radio"/> 60～64歳	9 <input type="radio"/> 65歳以上
主たる所属組織名 §			
上記の主たる所属組織についてお答えください。			
所属機関区分	1 <input type="radio"/> 大学	2 <input type="radio"/> 公的研究機関	3 <input type="radio"/> 民間企業
	4 <input type="radio"/> 病院	5 <input type="radio"/> その他	
部署名 §			
役職名 §			
郵便番号			
住所			
電話番号			
電子メールアドレス			
業務内容	1 <input type="radio"/> 主に研究(教育研究)	2 <input type="radio"/> 主にマネジメント	3 <input type="radio"/> 研究(教育研究)とマネジメント半々
	4 <input type="radio"/> その他		
職位	1 <input type="radio"/> 学長等クラス	学長・副学長、理事長・理事など	
	2 <input type="radio"/> 教授、部局長クラス	大学の教授、大学・公的研究機関の部局長、部・室・グループ長、研究所長など	
	3 <input type="radio"/> 准教授、主任研究員クラス	大学の准教授・講師、主任研究員、研究チーム内のサブリーダー的存在など	
	4 <input type="radio"/> 助教、研究員クラス	助教、研究員など	
	5 <input type="radio"/> その他		
雇用形態	1 <input type="radio"/> 任期あり	2 <input type="radio"/> 任期なし	
2014年度調査時点からの異動の有無	1 <input type="radio"/> 異動あり	2 <input type="radio"/> 異動なし	

§ 印の付いている項目は報告書に記載します。

## 〈サンプル〉

〈「ご連絡先等」についての注意事項〉

- 個人情報の一切は、本調査以外への転用、流用等は勿論、秘密を厳守し外部に公表されることはありません。
- 本調査終了後に、調査結果の報告書を作成し公開いたします。その際に、調査にご協力いただいた方のお名前とご所属(主たる所属組織名、部署名、役職名)を一覧にし、報告書に記載させていただきます。(「ご連絡先等」にて、「§」印の付いている項目です。)
- なお、ご回答内容を個人名つきで公開することは致しません。

調査へご協力いただいた方で、ご希望の方には、調査結果の報告書をお送りいたします。ご希望の有無をご記入下さい。

調査報告書の送付	1 <input checked="" type="radio"/> 希望する	2 <input type="radio"/> 希望しない
----------	---	-------------------------------

## 〈サンプル〉

文部科学省科学技術・学術政策研究所

科学技術の状況に係る総合的意識調査(大学・公的研究機関グループ研究者用)

### Part I 大学や公的研究機関における研究開発の状況

「Part I」の質問については全て、あなたの所属する学部・研究科、附置研究所、センター、事業所等における状況をお答え下さい。

若手研究者(39歳くらいまでのポストドクター、助教、准教授など、ただし学生は除く)の状況

あなたの所属する学部・研究科、附置研究所、センター、事業所等における状況をお答え下さい。

問1	若手研究者の数は充分と思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>	6 <input type="radio"/>	充 分
	変更理由欄:										
問2	若手研究者に自立と活躍の機会を与えるための環境整備は充分と思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>	6 <input type="radio"/>	充 分
	環境整備として、テニユア・トラック制の導入、若手対象の競争的資金制度の拡充、新規採用時に研究を立ち上げる際のスタートアップ資金の提供等をお考えください。										
	変更理由欄:										
問3	若手研究者の自立性(例えば、自主的・独立的に研究開発を遂行する能力)は充分に高いと思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>	6 <input type="radio"/>	充 分
	変更理由欄:										
問4	海外に研究留学や就職する若手研究者の数は充分と思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>	6 <input type="radio"/>	充 分
	変更理由欄:										
問5	長期的な研究開発のパフォーマンスの向上という観点から、今後、若手研究者の比率をどうすべきですか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	比 率 を 下 げ る べ き	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>	6 <input type="radio"/>	比 率 を 上 げ る べ き
	変更理由欄:										

## 〈サンプル〉

### 研究者を目指す若手の育成の状況

あなたの所属する学部・研究科、附置研究所、センター、事業所等における状況をお答え下さい。  
(公的研究機関の方については、連携大学院で学生を受け入れている場合、問6と問7にお答え下さい。)

問6 現状として、望ましい能力を持つ人材が、博士課程後期を目指していると思いますか。

分らない  目指していない  1  2  3  4  5  6  目指している

変更理由欄:

問7 望ましい能力を持つ人材が博士課程後期を目指すための環境の整備(例えば、博士課程後期在学者への経済的支援、課程終了後のキャリア形成支援等)は充分と思いますか。

分らない  不十分  1  2  3  4  5  6  充分

変更理由欄:

問8 博士号取得者がアカデミックな研究職以外の進路も含む多様なキャリアパスを選択できる環境の整備に向けての取組(博士号取得者本人や研究指導者の意識改革を含む)は充分と思いますか。

分らない  不十分  1  2  3  4  5  6  充分

変更理由欄:

### 優秀な若手研究者の育成や確保について

問9 大学・公的研究機関において、優秀な博士課程後期学生や若手研究者の育成や確保を行うために、今後どのような取り組みが必要ですか。ご意見をご自由にお書き下さい(必須項目ではありません)。特に第4期科学技術基本計画の進展や期間中に顕在化してきた課題を踏まえた記述をお願いします。

### 女性研究者の状況

あなたの所属する学部・研究科、附置研究所、センター、事業所等における状況をお答え下さい。

問10 多様な研究者の確保という観点から、女性研究者の数は充分と思いますか。

分らない  不十分  1  2  3  4  5  6  充分

変更理由欄:

問11 より多くの女性研究者が活躍するための環境の改善(ライフステージに応じた支援など)は充分と思いますか。

分らない  不十分  1  2  3  4  5  6  充分

変更理由欄:

## 〈サンプル〉

問12 より多くの女性研究者が活躍するための採用・昇進等の人事システムの工夫は充分と思いますか。

分らない  不十分  1  2  3  4  5  6  充分

変更理由欄:

### 外国人研究者の状況

あなたの所属する学部・研究科、附置研究所、センター、事業所等における状況をお答え下さい。

問13 多様な研究者の確保という観点から、外国人研究者の数は充分と思いますか。

分らない  不十分  1  2  3  4  5  6  充分

変更理由欄:

問14 外国人研究者を受け入れる体制(研究立ち上げへの支援、能力に応じた給与など)は充分に整っていると思いますか。

分らない  不十分  1  2  3  4  5  6  充分

変更理由欄:

### 大学・公的研究機関における多様な研究者の確保について

問15 大学・公的研究機関において、多様な研究者が活躍できるための環境を構築するために、今後どのような取り組みが必要ですか。ご意見をご自由にお書き下さい(必須項目ではありません)。特に第4期科学技術基本計画の進展や期間中に顕在化してきた課題を踏まえた記述をお願いします。

### 研究者の業績評価の状況

あなたの所属する学部・研究科、附置研究所、センター、事業所等における状況をお答え下さい。

問16 研究者の業績評価において、論文のみでなくさまざまな観点からの評価が充分に行われていますか。

分らない  不十分  1  2  3  4  5  6  充分

変更理由欄:

問17 業績評価の結果を踏まえた、研究者へのインセンティブ付与(給与への反映、研究環境の改善、サブディカル休暇の付与など)が充分に行われていますか。

分らない  不十分  1  2  3  4  5  6  充分

変更理由欄:

〈サンプル〉

研究環境の状況		あなたの所属する学部・研究科、附置研究所、センター、事業所等における状況をお答え下さい。																
問 18	<p>研究開発にかかる基本的な活動を実施するうえで、現状の基盤的経費(機関の内部研究費)は充分だと思いますか。</p> <p>基盤的経費として、機関が教員や研究員に定期的に配分する研究費をお考えください。個人が外部から獲得する研究費(科学研究費補助金、厚生労働科学研究費補助金、JST や NEDO からの研究資金など)は除きます。</p>	分からない	<input type="radio"/>	不十分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充分
	変更理由欄:																	
問 19	<p>科学研究費助成事業(科研費)における研究費の使いやすさ(例えば入金時期、研究費の年度間繰越等)の程度はどのように思いますか?</p>	分からない	<input type="radio"/>	使いにくい	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	使いやすい
	変更理由欄:																	
問 20	<p>研究費の基金化は、研究開発を効果的・効率的に実施することに役立っていますか。</p> <p>科学研究費助成事業(科研費)や最先端研究開発支援プログラム等の研究費制度において、複数年度にわたって研究費が使用できる改革(基金化)がはじまっています。</p>	分からない	<input type="radio"/>	役立っていない	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	役立っている
	変更理由欄:																	
問 21	<p>研究時間を確保するための取り組み(組織マネジメントの工夫、研究支援者の確保など)は充分なされていると思いますか。</p>	分からない	<input type="radio"/>	不十分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充分
	変更理由欄:																	
問 22	<p>研究活動を円滑に実施するための業務に従事する専門人材(リサーチアドミニストレータ)の育成・確保は充分なされていると思いますか。</p> <p>リサーチアドミニストレータとは、研究機関において、研究者とともに、研究活動を組織として円滑に実施するための業務に従事する者を指します。例えば、公募情報の研究者への提供、申請書作成支援、研究の実施に際して必要な人事、予算管理、経理、報告書作成などがリサーチアドミニストレータの業務として考えられます。</p>	分からない	<input type="radio"/>	不十分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充分
	変更理由欄:																	
問 23	<p>大学や公的研究機関において、研究開発に集中できる環境を構築するために、今後どのような取り組みが必要ですか。ご意見をご自由にお書き下さい(必須項目ではありません)。特に第 4 期科学技術基本計画の進展や期間中に顕在化してきた課題を踏まえた記述をお願いします。</p>																	

〈サンプル〉

研究施設・設備の整備等の状況		あなたの所属する学部・研究科、附置研究所、センター、事業所等における状況をお答え下さい。																
問 24	<p>研究施設・設備の程度は、創造的・先端的な研究開発や優れた人材の育成を行うのに充分だと思いますか。</p> <p>変更理由欄:</p>	分からない	<input type="radio"/>	不十分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充分
問 25	<p>研究施設・設備の状況について、ご意見をご自由にお書き下さい(必須項目ではありません)。特に第 4 期科学技術基本計画の進展や期間中に顕在化してきた課題についての記述をお願いします。</p>																	

〈サンプル〉

文部科学省科学技術・学術政策研究所

科学技術の状況に係る総合的意識調査(大学・公的研究機関グループ研究者用)

Part II 研究開発とイノベーションの橋渡し等の状況

「Part II」の問 1～問 15 については、あなたの所属する学部・研究科、附置研究所、センター、事業所等における状況をお答え下さい。

産学官連携の状況

あなたの所属する学部・研究科、附置研究所、センター、事業所等における状況をお答え下さい。

問 1	民間企業に対して、技術シーズについての情報発信を充分に行っていますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充 分
変更理由欄:																		
問 2	民間企業が持つニーズ(技術的課題等)への関心を充分に持っていますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充 分
変更理由欄:																		
問 3	民間企業が持つニーズ(技術的課題等)の情報は充分に得られていますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充 分
変更理由欄:																		
問 4	民間企業との研究情報の交換や相互の知的刺激の量は充分だと思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充 分
変更理由欄:																		
問 5	民間企業との間の人材流動や交流(研究者の転出・転入や受入など)の度合は充分だと思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充 分
変更理由欄:																		
問 6	民間企業との橋渡し(ニーズとシーズのマッチング、産学官のコミュニケーションの補助等)をする人材は充分に確保されていますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充 分
変更理由欄:																		

〈サンプル〉

問 7	民間企業との共同研究にあたって、知的財産に関わる運用(知的財産の管理、権利の分配など)は円滑であると思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	い い	<input type="radio"/>	円 滑 で は な い	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	円 滑 で あ る
変更理由欄:																				
問 8	研究開発から得られた知的財産(特許やノウハウなど)は、民間企業において充分に活用されていると思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充 分		
変更理由欄:																				
問 9	産学官連携活動が、研究者の業績として充分に評価されていると思いますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	不 充 分	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	充 分		
変更理由欄:																				
問 10	地域が抱えている課題解決のために、地域ニーズに即した研究に積極的に取り組んでいますか。	分 か ら な い	<input type="radio"/>	消 極 的	<input type="radio"/>	1	<input type="radio"/>	2	<input type="radio"/>	3	<input type="radio"/>	4	<input type="radio"/>	5	<input type="radio"/>	6	<input type="radio"/>	積 極 的		
変更理由欄:																				
問 11	産学官連携の状況について、ご意見をご自由にお書き下さい(必須項目ではありません)。特に第4期科学技術基本計画の進展や期間中に顕在化してきた課題についての記述をお願いします。																			
問 12	(本年度調査では実施しません)																			



## 〈サンプル〉

	変更理由欄:	
問 21	知的基盤や研究情報基盤の状況について、ご意見をご自由にお書き下さい(必須項目ではありません)。特に第4期科学技術基本計画の進展や期間中に顕在化してきた課題についての記述をお願いします。	
<b>基礎研究の状況</b> 日本全体の状況や産・学・官の各セクターの状況を大きく捉えてお答え下さい。		
問 22	我が国において、将来的なイノベーションの源としての基礎研究の多様性は、十分に確保されていますか。	分 か ら な い <input type="radio"/> 不 充 分 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 充 分 <input type="radio"/>
	変更理由欄:	
問 23	我が国において、将来的なイノベーションの源として独自の基礎研究が十分に実施されていますか。	分 か ら な い <input type="radio"/> 不 充 分 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 充 分 <input type="radio"/>
	変更理由欄:	
問 24	資金配分機関(JST や NEDO など)のプログラム・オフィサーやプログラム・ディレクターは、将来有望な研究開発テーマの発掘や戦略的な資金配分など、その機能を十分に果たしていますか。	分 か ら な い <input type="radio"/> 不 充 分 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 充 分 <input type="radio"/>
	変更理由欄:	
問 25	我が国の大学や公的研究機関の研究者は、世界的な知のネットワーク(国際共同研究、国際プロジェクト等)に十分に参画出来ていると思いますか。	分 か ら な い <input type="radio"/> 不 充 分 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 充 分 <input type="radio"/>
	変更理由欄:	
問 26	我が国の基礎研究について、国際的に突出した成果が十分に生み出されていると思いますか。	分 か ら な い <input type="radio"/> 不 充 分 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 充 分 <input type="radio"/>
	変更理由欄:	
問 27	基礎研究をはじめとする我が国の研究開発の成果はイノベーションに十分につながっていると思いますか。	分 か ら な い <input type="radio"/> 不 充 分 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 充 分 <input type="radio"/>

## 〈サンプル〉

	変更理由欄:	
問 28	我が国の大学・公的研究機関における基礎研究の多様性や独創性を確保するために、今後どのような取り組みが必要ですか。ご意見をご自由にお書き下さい(必須項目ではありません)。特に第4期科学技術基本計画の進展や期間中に顕在化してきた課題を踏まえた記述をお願いします。	
<b>社会と科学技術イノベーション政策との関係</b> 日本全体の状況や産・学・官の各セクターの状況を大きく捉えてお答え下さい。		
問 29	国は、国民に向けて、科学技術イノベーション及びそのための政策の内容や、それらがもたらす効果と限界等についての説明を充分に行っていると思いますか。	分 か ら な い <input type="radio"/> 不 充 分 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 充 分 <input type="radio"/>
	変更理由欄:	
問 30	国は、科学技術イノベーション政策の企画立案、推進に際して、国民の幅広い参画を得るための取り組み(意見公募の実施など)を、充分に行っていると思いますか。	分 か ら な い <input type="radio"/> 不 充 分 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 充 分 <input type="radio"/>
	変更理由欄:	
問 31	国や研究者コミュニティ(各学会等)は、科学技術に関連する倫理的・法的・社会的課題について充分に対応していると思いますか。	分 か ら な い <input type="radio"/> 不 充 分 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 充 分 <input type="radio"/>
	変更理由欄:	
問 32	国や研究者コミュニティ(各学会等)は、研究活動から得られた成果等を国民に分かりやすく伝える役割を十分に果たしていますか。	分 か ら な い <input type="radio"/> 不 充 分 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 充 分 <input type="radio"/>
	変更理由欄:	
問 33	社会と科学技術イノベーション及びそのための政策の関係について、ご意見をご自由にお書き下さい(必須項目ではありません)。特に第4期科学技術基本計画の進展や期間中に顕在化してきた課題についての記述をお願いします。	

文部科学省科学技術・学術政策研究所

科学技術の状況に係る総合的意識調査  
NISTEP 定点調査 2015 深掘調査

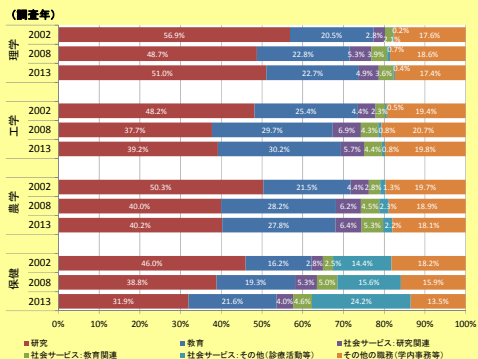
1. 職務活動時間の分配について (大学・公的研究機関グループの大学研究者のみ)

問 1-1 職務活動時間の理想の配分

あなたの現在の役割・役職に対しアウトプットを最大限にするために、あなたが理想と考える、ご自身の教育活動、研究活動、社会サービス活動、その他の職務活動への時間配分をお答えください。4 つの活動の合計値が 100%となるようにして下さい。それぞれの活動の内容については、それぞれの活動の横に書かれている説明を参照してください。

職務活動	理想の配分	活動の内容 (詳細にしましては下記のリンクをご覧ください) <a href="#">文部科学省「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査(2013年)」付録 34-37 技経</a>
研究	___%	物事・機能・現象などについて新しい知識を得るために、あるいは、既存の知識の新しい活用の道を開くために行われる創造的な努力及び探求。 例: 研究に関する、「情報・資料収集」、「収集データの入力・加工・編成」、「試作・実験・集計・分析」、「論文作成、論文の査読」、「国際研究プロジェクト参加」。また、大学院博士課程(後期課程のみ)の大学院生の博士論文作成のための研究指導など。競争的資金獲得のための申請書類の作成のように、研究に貢献する可能性がある書類作成は研究時間に含まれません。
教育	___%	学生に対する広い知識の教授並びに知的、道徳的及び応用的能力を展開させる指導。 例: 授業(学生に単位が与えられるものを対象)、学生に対する個別指導(卒業論文・修士論文指導、学生との読書会等)、授業又は指導に直接必要な情報、資料の収集。また、教科書の執筆(自分の授業で用いることを主したもの)など。
社会サービス	___%	教員の専門的知識を用いて大学以外の社会へ貢献することを主たる目的とした活動のうち、上記の「教育活動」、「研究活動」に入らないもの。正規課程学生以外を主たる対象とする教育・啓蒙や、専門知識を用いた連携活動や相談・診療など。なお、社会サービス活動は、つぎの「研究関連活動」、「教育関連活動」、「その他活動」を含みます。 (1) 研究関連活動: 日本学術会議、学会(国内・国際)等に関する活動(研究活動を除く)、国などの審議会等への出席などの行政参画活動、産業界への技術移転、研究成果の企業化など。 (2) 教育関連活動: 公開講座、市民講座、出前講義、研修・セミナーへの出講(派遣)、研究室・研究所の一般公開(オープンキャンパスや見学への対応等)など。 (3) その他の活動: 大学の附属病院等における診療、治療及びそれにかかる検査・試験・分析など。
その他	___%	学内事務や来客への対応などの上記の教育活動、研究活動、社会サービス活動以外の職務に関する活動。 例: 教授会、主任会議等への出席、学校等その他の管理運営業務、大学等の自己点検・評価に関する活動、特定目的でない来客の対応など。
合計	___%	

【参考】文部科学省が 2002、2008、2013 年実施した「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」における分野別の職務時間割合は以下の通りになっています。



(出典) 大学等教員の職務活動の変化-「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」による 2002 年、2008 年、2013 年調査の 3 時点比較、科学技術・学術政策研究所、調査資料-236(2015 年 4 月)

問 1-2 現実の研究時間割合 (%)

つぎに、とくに研究時間割合(%)について、お聞きします。問 1-1 でお答えになった、あなたが理想と考える研究時間割合(%)と比べて、現状の状況はどうか。過去 1 年の平均的な状況を踏まえてお答えください。大まかな状況で構いません。

	理想より低い (-10%ポイント以上)	理想よりやや低い (-5~10%ポイント)	理想に近い (±5%ポイント以内)	理想よりやや高い (+5~10%ポイント)	理想より高い (+10%ポイント以上)
研究時間割合(%)の確保の状況	●	●	●	●	●

問 1-3 研究時間割合(%)の確保や研究活動に集中するための環境整備を行う上で有効な方策

あなたの職務活動における研究時間割合の確保や研究活動に集中するための環境整備を行う上で、次の方策の内、どれが有効と考えられますか。有効と思われる方策を上位 2 つまで選んでください。

「その他」を選択した場合は、具体的な方策について記述してください。

1 位                      2 位                      「その他」を選んだ場合は、具体的な内容をお書きください。

--	--	--

- ① 獲得した公募型資金の研究に専念できるよう、教育業務を代替してくれる教育スタッフの確保
- ② 組織内の役割分担(教育専任教員と研究専任教員による分業等)の実施
- ③ 公募型資金にかかる手続き(事前・事後・経理)を行う事務職員の雇用・充実\*
- ④ 機器や薬品等の維持管理を行う技能者の雇用・充実\*
- ⑤ 国際共同研究などの手続きを行う高度な語学能力を有する事務職員の雇用・充実\*
- ⑥ 産学官連携活動にかかる手続きを行う専門職員の雇用・充実\*
- ⑦ 研究室のマネジメント補助を行う人材の雇用・充実\*(研究室専属の秘書等)
- ⑧ 部局レベルのマネジメント(学部・学科運営、入試問題作成、予算・設備管理等)を専門に行う人材の雇用・充実\*
- ⑨ 大学レベルのマネジメント(教育、研究、財務、産学連携等)を専門に行う人材の雇用・充実\*
- ⑩ その他
- ⑪ 現状で問題ない
- ⑫ 分からない

※「充実」には、業務のアウトソース化も含まれます。



2. 科学技術イノベーション政策の効果をより高めるために（全員）

問2-1 科学技術イノベーション政策の効果が波及することを妨げている要因

NISTEP 定点調査では、研究者や有識者のみなさまから見た政策の効果を、さまざまな科学技術の状況についての充分度という形で計測しています。したがって、施策等が実施されても、回答者のみなさまが、それによる変化を感じる事が出来なければ、NISTEP 定点調査の指数は上昇しません。

現状の科学技術イノベーション政策\*において、その効果が波及することを妨げていると思われる要因を上位 2 つまで選択してください。「その他」を選択した場合は、要因の内容を具体的に記述してください。

1 位	2 位	「その他」を選んだ場合は、要因の内容を具体的に書き ください。

- ① 【規模感】施策の目標に規模感(配分額・採択件数等)が合致しておらず、効果が十分に波及していない
- ② 【期間】施策の目標に施策の実施される期間(実施期間が短い等)が合致しておらず、効果が十分に波及していない
- ③ 【継続性】施策が単発的に実施されており、継続性が無く、効果が十分に波及していない
- ④ 【機動性】科学技術イノベーションの進展や社会ニーズの変化に対応して、施策が機動的に実施されておらず、効果が十分に波及していない
- ⑤ 【連携】類似する又は関連する施策間が別々に実施されている(連携がなされていない)ため、効果が十分に波及していない
- ⑥ 【橋渡し】異なるフェーズ(基礎・応用・開発等)の施策の橋渡しがなされていないため、効果が十分に波及していない
- ⑦ 【方向性】異なる方向性のさまざまな施策に現場が対応できず、効果が十分に波及していない
- ⑧ 【運用】施策が実施されても、現場の運用方法によって、効果が十分に波及していない
- ⑨ 【目標の浸透】施策の目標が現場の研究者等に伝わっておらず、効果が十分に波及していない
- ⑩ 【目標設定】施策の目標が現場のポテンシャルを超えるものとなり、効果が十分に波及していない
- ⑪ その他
- ⑫ 分からない

\* 【参考】科学技術イノベーション政策に関しましては、次のページをご参考になさってください。  
平成 27 年版科学技術白書 第 1 部 第 2 章 科学技術基本計画の変遷と実績  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/hpaa201501/detail/1359576.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpaa201501/detail/1359576.htm)  
内閣府総合科学技術・イノベーション会議 <http://www8.cao.go.jp/cstp/>

問2-2 科学技術イノベーション政策の効果をより高めるために

科学技術イノベーション政策にかかる施策で、現在、個別に実施されているが、それらを連携することで一層の効果が期待される施策(科学技術イノベーション政策以外との連携も含みます)はありますか。何か事例がありましたら、お答えください。必須項目ではありませんが、記入をお願いします。

3. 我が国の科学や技術の水準と産業競争力に関して（全員）

ここでは、第 4 期科学技術基本計画期間中(2011～2015 年度)における、我が国の科学や技術の水準及び産業競争力が、主要国との比較において、どのような位置となったかをお聞きします。科学・技術・産業のそれぞれについて、あなたの研究や職務上、最も関係する分野の状況を、我が国全体の状況を踏まえてお答えください。

問3-1 我が国の科学の水準について

① 科学の分野

あなたの研究や職務上、最も関係する科学の分野を下記から 1 つお選びください。

最も関係する 科学の分野	その他を選んだ場合は、具体的な内容をお書きください。

- |             |            |               |            |
|-------------|------------|---------------|------------|
| 1. 数学       | 2. 計算機科学   | 3. 化学         | 4. 物理学・天文学 |
| 5. 農業科学     | 6. 生物・生命科学 | 7. 歯科学、精神医学   | 8. 環境科学    |
| 9. 化学工学     | 10. 物理学    | 11. 生物工学、生体工学 | 12. 土木工学   |
| 13. 電気・電子工学 | 14. 機械工学   | 15. 材料工学、冶金工学 | 16. 看護学    |
| 17. 人文・社会科学 | 18. その他    | 19. 科学は関係しない  | 20. 分からない  |

② 我が国の科学の水準 (①で「関係しない」「分からない」を、選択された方は、本質問をお答え頂く必要はありません)

①で選択した科学分野について、米国、欧州、アジアと比較した現在および 5 年前の状況について、あなたのお考えをお答えください。5 年前の状況については、5 年間の中期的な状況変化を踏まえてお答えください。

	我が国の現在の状況					我が国の 5 年前の状況				
	分からない	大幅に低い	低い	同水準	高い	大幅に高い	高い	同水準	低い	大幅に低い
米国との比較	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
欧州(最も進んでいる国)との比較	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アジア(最も進んでいる国)との比較	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

\* 科学の水準とは、主に論文等の形で成果が発表される、自然現象や観測事実の根幹をなす原理等について、新しい知識を得る事を目的とした活動における水準とお考えください。水準については成果等の量・質や学会等での評判などを目安にお考え下さい。

問3-2 我が国の技術の水準について

① 技術の分野

あなたの研究や職務上、最も関係する技術の分野を下記から 1 つお選びください。

最も関係する 技術の分野	その他を選んだ場合は、具体的な内容をお書きください。

- |                  |                |                   |                     |
|------------------|----------------|-------------------|---------------------|
| 1. 電気工学          | 2. 情報通信技術      | 3. 一般機器(光学・計測・制御) | 4. バイオ・医療機器(医療技術含む) |
| 5. 材料化学          | 6. 金属工学        | 7. 環境技術           | 8. 化学工学             |
| 9. バイオテクノロジー・医薬品 | 10. 高分子化学・ポリマー | 11. 機械工学          | 12. 輸送用機器           |
| 13. 土木建築         | 14. その他        | 15. 技術は関係しない      | 16. 分からない           |

〈サンプル〉

② 我が国の技術の水準 (①で「関係しない」「分からない」を、選択された方は、本質問をお答え頂く必要はありません)

①で選択した技術分野について、米国、欧州、アジアと比較した現在および5年前の状況について、あなたのお考えを、お答えください。5年前の状況については、5年間の中期的な状況変化を踏まえてお答えください。

	分からない	我が国の現在の状況					我が国の5年前の状況				
		大幅に低い	低い	同水準	高い	大幅に高い	大幅に低い	低い	同水準	高い	大幅に高い
米国との比較	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
欧州(最も進んでいる国)との比較	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アジア(最も進んでいる国)との比較	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※ 技術の水準とは、主に特許等の形で成果が発表される、産業への応用などのため、実用上の具体的な問題の解決を目的とした活動における水準とお考えください。水準については成果等の量・質や学会等での評判などを目安にお考え下さい。

問3-3 我が国の産業競争力について

① 産業の分野

あなたの研究や職務上、最も関係する産業の分野を下記から1つお選びください。

最も関係する産業の分野  その他を選んだ場合は、具体的な内容をお書きください。

- 農業、林業
- 建設業
- 化学工業(医薬品製造業除く)
- 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- 電気機械器具製造業
- 情報通信機械器具製造業
- 輸送用機械器具製造業
- 医薬品製造業
- 繊維工業
- 鉄鋼業&非鉄・金属製造業
- 窯業・土石製品製造業
- その他製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 医療、福祉
- その他非製造業
- その他
- 産業は関係しない
- 分からない

② 我が国の産業競争力 (①で「関係しない」「分からない」を、選択された方は、本質問をお答え頂く必要はありません)

①で選択した産業分野について、米国、欧州、アジアと比較した現在および5年前の状況について、あなたのお考えを、お答えください。5年前の状況については、5年間の中期的な状況変化を踏まえてお答えください。

	分からない	我が国の現在の状況					我が国の5年前の状況				
		大幅に低い	低い	同水準	高い	大幅に高い	大幅に低い	低い	同水準	高い	大幅に高い
米国との比較	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
欧州(最も進んでいる国)との比較	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アジア(最も進んでいる国)との比較	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※ 産業競争力とは、市場における売上高やシェアなど、経済的価値を生み出すことを目的とした活動における他国と比べた水準とお考えください。

〈サンプル〉

4. 第5期科学技術基本計画に向けて(全員)

問4-1 第5期科学技術基本計画中に、とくに改善の必要があると思われる事項

これまで過去5年間にわたり、NISTEP 定点調査へのご回答にご協力頂きまして、ありがとうございました。  
最後に、NISTEP 定点調査にご回答いただいた結果を踏まえて、第5期科学技術基本計画(2016~2020年度)に、とくに改善の必要があると思われる事項を1つ選択し、お答えください。「その他」を選択した場合は、具体的な内容を記述してください。

選択  「その他」を選択した場合は、具体的な内容を記述してください。

- 研究人材  
若手研究者、研究者を目指す若手人材の育成、女性研究者、外国人研究者、研究者の業績評価等
- 研究環境  
研究環境(基盤的経費、間接経費、研究時間、URA等)、研究施設・設備の整備等、科学技術予算等、知的基盤や研究情報基盤等
- 産学官連携、地域  
シーズとニーズのマッチング、産学官の橋渡し、大学や公的研究機関の知的財産の活用、地域が抱えている課題解決への貢献、研究開発人材育成の状況等
- 基礎研究  
基礎研究
- イノベーション政策  
社会と科学技術イノベーション政策、重要課題の達成に向けた推進体制構築、科学技術イノベーションに関する新たなシステムの構築の状況等
- その他
- 分からない

問4-2 第5期科学技術基本計画に向けて

問4-1でご回答いただいた項目を改善していく上で重要となる点や、第5期科学技術基本計画(2016~2020年度)に状況の把握が必要であると思われる点の内容を端的に示すキーワードを3つまであげてください。また、それを踏まえて、第5期科学技術基本計画に向けた、ご意見がありましたらお聞かせください。必須項目ではありませんが、記入をお願いします。

(キーワード1) <input type="text"/>	(キーワード2) <input type="text"/>	(キーワード3) <input type="text"/>
(自由記述) <input type="text"/>		

## 〈サンプル〉

文部科学省科学技術・学術政策研究所

科学技術の状況に係る総合的意識調査(大学・公的研究機関グループ研究者用)  
調査へのご協力ありがとうございました。

本調査へのご協力誠にありがとうございました。アンケート受領の電子メールを、ご登録頂いた電子メールアドレスに送信しました。受領メールが届かない場合は、恐れ入りますが(省略)へお問い合わせください。